

# カーボンレポート

## 東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO<sub>2</sub>排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A1480-0488

報告書提出  
事業者名

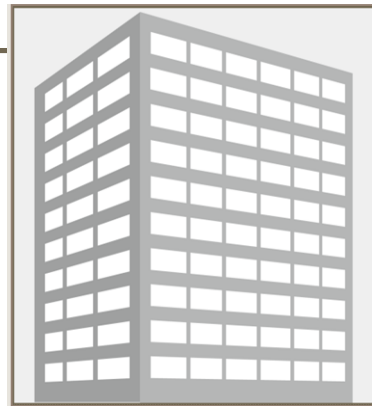
みずほ信託銀行株式会社

事業所名

イトーピア岩本町ANNEXビル

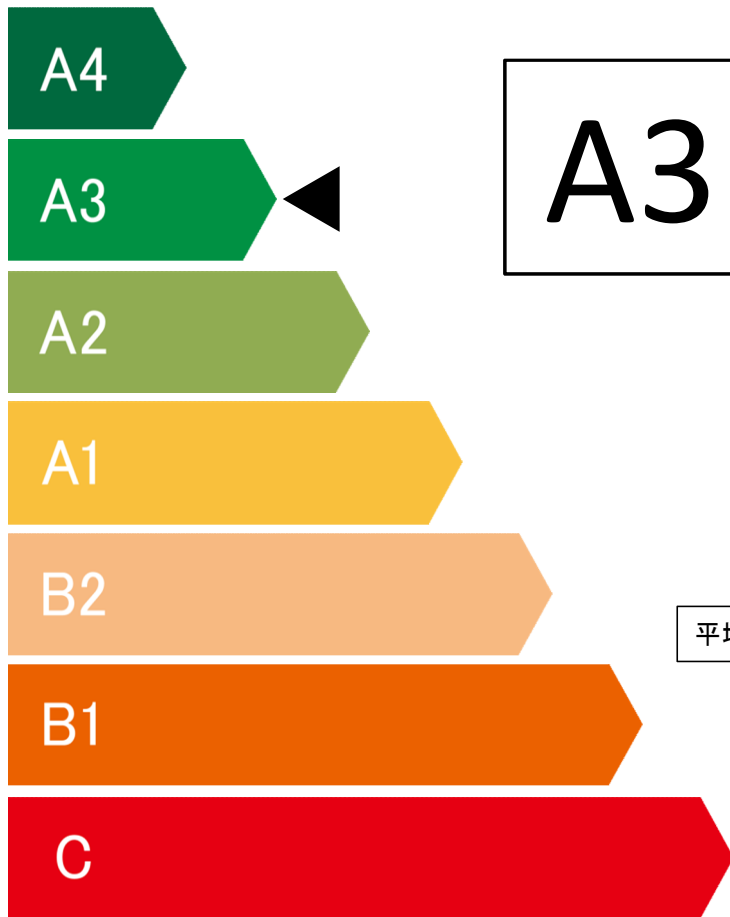
住 所

千代田区岩本町2-14-2



| 実績年度  | 年間CO <sub>2</sub> 排出量 | 延床面積                   | CO <sub>2</sub> 排出原単位<br>(延床面積当たりの年間CO <sub>2</sub> 排出量) | 主たる用途 |
|-------|-----------------------|------------------------|--|-------|
| 2019年 | 202 t                 | 3829.74 m <sup>2</sup> | 52.2 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>                  | 事務所   |

### ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、中規模)



平均値

※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO<sub>2</sub>排出水準(CO<sub>2</sub>排出原単位の水準)を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)を参照)

※CO<sub>2</sub>排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。

※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

|                | 重点対策            | その他対策           |
|----------------|-----------------|-----------------|
|                | 対策名             | 対策名             |
| 組織体制の整備        | テナントにエネルギー使用量提供 |                 |
|                |                 |                 |
| エネルギー等の使用状況の把握 | 自ら入手可能な情報に基づく把握 |                 |
|                |                 |                 |
| 運用対策           | 空室・不在時等のこまめな消灯  | 空調機スイッチに空調範囲を表示 |
|                | 空室・不在時等の空調停止    | 温度計等による室温の把握と調整 |
|                | 共用部照明のフロアごとの管理  | 便座ヒーター等温度の季節別設定 |
|                | フロア共用部の温度の把握・設定 | 季節に応じた温度設定の見直し  |
|                | 共用部のフロアごとの空調の管理 | その他設備の不使用时の停止   |
| 設備保守対策         | 空調フィルターの清掃・点検   | 換気フィルターの清掃・点検   |
|                |                 | その他設備の定期的な保守・点検 |
| 設備導入対策         | 高効率照明ランプの採用(屋内) | 高輝度誘導灯の導入       |
|                | 高効率照明器具の採用(屋内)  | 照明点灯範囲の細分化      |
|                | 高効率パッケージの採用     | 全熱交換器の導入        |
|                |                 | 給湯の温水配管の保温の実施   |

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

◆ 注記

ビルのCO<sub>2</sub>排出原単位(延床面積当りの年間CO<sub>2</sub>排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO<sub>2</sub>排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO<sub>2</sub>排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO<sub>2</sub>排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も包含した平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO<sub>2</sub>排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。